



学生の声

Student's Voice

多様な表現を知り、学び、

実践することで広がる創作の幅。

自分が本気になれる手法を探求できます。

工藤 優夏 さん

4年 埼玉県 県立越谷北高等学校出身

中学は吹奏楽部、高校は演劇部に入るなど、昔から自分で何かを表現することに興味がありました。大学を選ぶ際に、どの表現分野について学ぶか悩んでいたとき、母の「ここなら、表現について広く学べそうだよ」という言葉をきっかけに本学科を知り、進学を決意。

現在、ポピュラーカルチャーについて研究するゼミに所属しており、音楽表現を中心に、朗読やパフォーマンスなどさまざまな表現について学んでいます。実習ではパソコンのDTMソフトを使ってオリジナルの楽曲を作成したり、あるときは授業の課題で小説を書いたりと多種多様な表現方法に触れることができます。

卒業後は、大学で学んだ幅広い表現の中でも、自分が本気になれるものを見つけて追求したいと考えています。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限				現代文化表現学演習I		
2限	デジタル表現論	ミステリー文学	パフォーマンス実習	創作ライティング演習B(シナリオ)		
3限	アナウンス	マンガ・イラスト制作実習		デジタル表現実習	現代文化表現学特殊講義(身体)C	
4限		ポピュラー音楽論	ジェンダー論		アニメーション論	
5限					現代日本のダンスと演劇	

※このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づくものです。

Course model

履修モデル

幅広い将来の進路に合わせて、3つの履修モデルを設定しています。

文化・芸術を論理的に深め 幅広く携わりたい

アート&シアター 分野

【履修科目例】

- 舞台芸術と身体表現
- 文化創造における伝統と現代
- アート・プロデュース論
- 現代日本のダンスと演劇
- 映像表現基礎実習
- パフォーマンス実習

Student's Voice

「映像表現基礎実習」を履修して、Adobeの動画編集ソフトの使い方を学び、グループで映像作品をつくりました。アイデア出しから撮影、編集まで楽しく体験できて、工夫を重ねて完成した時の達成感も魅力的ですよ。

専門知識を身に付け 服飾やデザイン業界で活躍したい

デザイン&ファッション 分野

【履修科目例】

- デザイン文化論
- ファッション文化論
- ジェンダーと文化表現
- 現代建築文化論
- コマーシャル表現論
- 現代日本のアートと批評

Student's Voice

「ファッション文化論」を履修して、大好きだったファッションについて「もっと学びたい」と思うようになりました。ファッションと社会の関係や日本と海外の違いを知り、視野を広げることができました。

マンガやアニメ、音楽を 学問として探究したい

ポピュラーカルチャー 分野

【履修科目例】

- ヴィジュアル・カルチャー概論
- 文化表現とテクノロジー
- ポピュラー音楽論
- マンガ論
- アニメーション論
- デジタル表現実習

Student's Voice

「マンガ論」を履修して、マンガやアニメの作品の傾向、読者や視聴者の傾向から文化の流れや時代背景、時代の移り変わりを読み解くことができました。今まで気づかなかった視点で作品を観ることができます。

